旧門脇小学校震災遺構調査・基本設計等業務
プロポーザル参加申込書・技術提案書作成要領

１　参加申込書

(1)　参加申込書（様式１）

(2)　添付書類

ア　会社概要書（様式２）

イ　設計共同企業体参加資格審査申請書（様式３）

ウ　設計共同企業体協定書（様式３－１）

エ　委任状（様式３－２）

オ　設計共同企業体使用印鑑届（様式３－３）

カ　同種設計業務実績調書（様式４）

キ　同種展示業務実績調書（様式５）

ク　本業務担当チームの管理技術者、照査担当技術者、主任技術者等の経歴（様式６）

ケ　本業務担当チームの管理技術者、照査担当技術者、主任技術者等の主要業務実績（様式７）

コ　協力事務所の内容（様式８）

(3)　記入上の留意事項

ア　会社概要書

ａ　貴社の概要について記入してください。

ｂ　商業登記簿謄本の写し及び会社のパンフレット等、会社の概要がわかるものを添付してください（設計共同企業体の場合は構成員ごと）。

イ　設計共同企業体参加資格審査申請書

構成員は、すべて記入してください。

ウ　業務共同企業体協定書

協定書の写し１部を提出してください。

エ　委任状

構成員ごとに各１部提出してください。

オ　設計共同企業体使用印鑑届

設計共同企業体で使用する代表者の印鑑を押印し、１部提出してください。

カ　同種設計業務実績調書

貴社における同種建設業務実績を３つ記入してください。

キ　同種展示業務実績調書

貴社における同種展示業務実績を３つ記入してください。

ク　本業務担当チームの管理技術者、照査担当技術者、主任技術者等の経歴

ａ　管理技術者は「一級建築士」の資格を有するものとし、意匠担当主任技術者を兼ねることはできません。

ｂ　「資格」は本件業務を行うにあたり関連する資格について記載し、資格証の写し等を添付してください。

ｃ　「主な受賞」欄は、業務実績に記載した業務における、公共団体、学会等が行うコンクール等の受賞実績を記入してください。ただし、建築関係、展示関係に係る賞に限ります。

ケ　本業務担当チームの管理技術者、照査担当技術者、主任技術者等の主要業務実績

ａ　「業務」３件について、写真等を添付し、業務内容や設計コンセプトについて簡潔に記入してください。

ｂ　「業務」は、対象施設が平成１９年４月以降に業務を完了し、担当者として従事した業務について記入してください。実績が証明できる資料を添付してください。

コ　協力事務所の内容

協力事務所の内容及び協力事務所を含む体制を記載してください。

２　技術提案

(1)　提出書類

ア　業務実施方針及び業務スケジュール（Ａ３版１枚任意様式）を１部提出して下さい。

本事業に関する①事業の実施方針、②取組体制、③工程の事項等を簡潔にまとめてください（フォントサイズは、本文１０．５ポイント、表等は８ポイントとします）。

イ　技術提案書

技術提案書の作成には、以下の事項に留意してください。

ａ　技術提案書はＡ３版５枚以内で作成し、１０部及び電子データ（ＣＤ等）１部を提出してください。

・　文章の説明文字の大きさは１２ポイント以上、図や表の中の文字は１０．５ポイント以上の大きさで作成してください。また、各提案には、カラーコピーを用いても構いません。

・　電子データの形式は、汎用の形式（ＰＤＦ、Ｗｏｒｄ、Ｅｘｃｅｌ等）で提出願います。

ｂ　技術提案書は、構成がわかる配置図、各機能の連関が分かる略平面、空間構成図を適切なスケールで表現してください。また、図中には「(2)技術提案に関する課題」の各項目を明記して、提案の骨子がわかりやすく理解できるように工夫してください。

ｃ　技術提案書の材質、レイアウト、着色は自由とします。

ｄ　写真、イラスト、スケッチ、イメージ図の使用は可とします。

ｅ　技術提案書には、参加表明書の提出後に与えられた整理番号を、右上角に枠を作成し、必ず記入してください。

ｆ　技術提案書を受領した後の提案物の追加、修正及び再提出は認めません。

ｈ　技術提案書には、整理番号以外の提案者の会社名、個人名等が特定できる記号等

は一切記入できないものとします。

(2)　技術提案に関する課題

特記仕様書及び別添１から別添８までの資料を参考に、以下の項目を踏まえ、本整備事業により、東日本大震災で失われた多くのかけがえのない命を忘れず、三陸沿岸で続いてきた「大地震、大津波、そして壊滅」という悲劇の連鎖を断ち切るため、未来まで震災を伝えていく施設を実現する提案をしてください。

ア　震災遺構整備に関する課題

ａ　校舎

・　校舎両端の減築手法及び構造補強

・　周囲から内部を観察するための工夫

ｂ　特別教室

・　展示施設としての活用

・　遺物倉庫としての役割

ｃ　体育館

・　地域住民交流の場としてのホール機能

・　展示施設としての活用

ｄ　校庭

・　周囲の景観等に配慮した植栽

・　駐車場の整備

イ　展示に関する課題

ａ　東日本大震災の概要と被害状況

・　石巻市の震災の被害状況と復興の過程

・　震災の悲惨さ

・　津波の恐ろしさ

ｂ　震災遺構としての旧門脇小学校

・　津波による校舎内外の被害状況（津波被害と津波火災による複合被害）

・　震災当日の児童達の避難行動

・　校舎に避難した住民達の避難行動（校舎２階から裏山への避難等）

・　石巻南浜津波復興祈念公園や日和山との連携

ｃ　門脇地区の歴史

・　門脇地区の歴史や震災前の暮らしなど

・　震災前後の門脇地区

・　門脇地区のまちづくりの歩み

・　旧門脇小学校の歴史の紹介

・　震災前の児童達の笑顔があふれる学校生活や学校行事などの紹介

ウ　コスト・施工期間に関する課題

ａ　施設整備費を抑える工夫

ｂ　維持管理経費を抑える工夫

ｃ　施工期間短縮のための工夫

３　評価基準

⑴　業務実績評価

提出された書類に基づき業務実績による点数評価を行います（項目については別紙１参照）。

⑵　技術提案書評価基準

技術提案の内容と、業務実施体制や業務スケジュール等について、公開ヒアリングを行い、点数評価を行います（項目については別紙１参照）。